

子育て伝言板

初めての集団生活

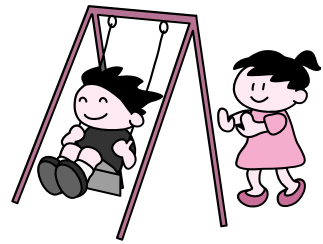
登別保育所長 川村孝子

新しいことがたくさん始まる春、初めて集団生活を経験するお子さんはもちろん、保護者の方も、「友だちとうまくやっていけるだろうか。集団生活なじめるだろうか」などと、毎日をドキドキ過ごされているのではないのでしょうか。

初めて集団生活をするお子さんは、今までと違う環境に戸惑い、たくさんのお友だちに驚きながら「保育所や幼稚園は好きだけど、お母さんが一緒にいないから嫌なの」という表情を見せながら泣いて表現したり、不安や戸惑いを、ふざけたり、熱を出すなど全身で表現します。

子どもは、知らない場所や人とかかわりで、戸惑いや不安を表現するのは自然な姿です。保護者の方は「大丈夫」とゆつたりと接してください。子どもだけや子どもと保護者だけでは子どもは健やかに成長しません。

子どもは、自分や保護者以外の社会の刺激を受けながら成長していきますので、施設との信頼関係



を築くことが大切です。

保護者の方は、お子さんのことで心配なことや不安なことがあれば、どんな小さなことでも聞いてください。施設の職員も保護者と話しながら、お子さんのことをより深く理解し、信頼関係を築きたいと思っています。

また、集団生活が始まり、友だちとの関係が深まってくると、「僕が使いたい。僕も使いたい。わたしが使っていた」とそれぞれ強い思いがぶつかり、トラブルになることもあります。

このようなトラブルは、大人の価値観では分からない子ども独自の世界で、子ども同士が納得し合いい解決されることもあります。大人には理解しづらい子どもの世界に少し距離を置きながら、初めての集団生活を見守りましょう。

▼問い合わせ 子育てグループ

(☎555634)

人が輝き まちがときめく

仲間たち

Group

登別サッカースポーツ少年団



「登別サッカースポーツ少年団」は、昭和58年、たくさんのお子どもたちにサッカーを楽しんでもらおうと結成されました。

現在、団員は小学1年生から5年生までの17人。週に3・4回、16時から監督とコーチの指導のもと、登別小学校のグラウンドや体育館で練習に汗を流しています。

「このチームは、みんな本当に仲が良く、サッカーが好きなんです。練習が中止になるとがっかりするんですよ。やっとグラウンドが使える時季になりましたのでみんな楽しみにしています」と話すのは監督の原敬一さん。

「今は6年生がいないので、5年生がチームを引っ張っています。が、しっかりと下級生の面倒も見ています。試合に勝ったり負けたりして、喜んだり、悔しがったり

サッカーを楽しみながら
体力を向上させ、精神的
にも強くなります



しますが、サッカーを通して、体力を向上させ、精神的にも強くなつてほしいですね。そして、中学生や高校生、社会人になってもサッカーを続けてほしいです」と原さんは話してくれました。

小学1年生から活動しているキャプテンの富樫良太君（登別小学校5年生）は、「兄がサッカーをやっていたので、僕も始めました。サッカーが好きなので、練習や試合でつらいと思ったことはありませんが、負けるときは悔しいけど試合に勝ったときはうれしいです」と楽しそうに話してくれました。

サッカー以外の活動では、みんなでキャンプに行くなどして交流を深めているそうです。

入団を希望される方は、事務局・前澤さん（☎872432）までどうぞ。